



毎年恒例となった冬の森観察会は藤の沢小学校5年生24名が参加して学校林・小鳥の村で行われました。4グループに分かれ、スノーシューを履いて雪原を踏みしめながら、動物の足跡を発見したり、オニグルミの冬芽や儀作スギを観察しながらゆつくりと雪道を歩きます。

目指すお目当ては雪のすべり台です。始めは恐る恐るの誰も、体感でコツをつかんで2回、3回とスピード感を楽しみ雪まみれになりながら2時間ほどの冬の森観察は無事終了しました。終わりの会では1年間の学習の感想文集をいただきました。

活動の記録「今日の話」



2月14日(木)

学校林・小鳥の村で冬の森観察会



活動の記録「今日の話」

”森で活動する楽しさを知ることができました”



藤の沢小学校5年生が一年間にわたって学校林・小鳥の村で学んだ森の学習の感想文が樹木博士認定書を手に笑顔の集合写真を表紙にかぎった冊子にまとめられました。

樹木博士、地ごしらえ、測樹体験、冬の森観察会などを体験して「いろいろと自然のことができた」と、自然のすばらしさを知ることができた。「たくさんさんの木の種類を知ることができました」。「これからも森林を大切に守っていききたいです」など、それぞれ一人一人の感想が記されています。

2019年度「かたる会」と「新年会」が開催されました。

活動の記録「今日の話」

新年会



札幌市エルプラザ会議コーナー、ネストホテルで「かたる会」と「新年会」が開催され、平成31年度に向けての説明があり、①NPO法人解散について②任意団体移行について③移行後の活動方針と取り組み体制について④31年度活動計画等が承認されました。



この度、NPO森林遊びサポートセンターの解散に伴い、「もりのとも」もこの40号を最終号とすることになりました。そこで私のNPOとの出会いから現在までの経過や思い出を記してみたいと思います。

私がNPO森林遊びサポートセンターに入会したのは2011年1月の冬、今から8年前です。現会員の中では比較的会員歴の短い方だと思います。当然、NPOの前身である「札幌森友会」時代は知らない会員です。私は定年退職後、2010年の秋に関西より札幌に転居して来ました。定年後をどう生きていくかを模索していた私は三つの条件「山に親しみたい」「肉体労働をしたい」「人と交わりたい」を軸にそのような団体を探したところ、当NPOに出会いました。会員数、行事数、歴史等は立派なもので、すぐ入会しました。実際に会の行事に参加してみると、小林会長の献身的なリーダーシップにより組織の維持と行事が運営されており、私は安心して定年後の活動の柱にしようと思えました。爾来、四季を通しての登山、森づくり、子供森林体験学習等の行事を通して植物・動物の名前や関連知識、「道具の使い方・樹木の切り

入会よりNPO解散、任意団体「森友会」の立上げまで...

代表 高橋 喜三雄

倒し方・植林の仕方」「山菜採り」等々世界が広がりました。冬の雪山歩きも新しい経験で、トレースの無い山をカシジキで歩く楽しさを学びました。小林会長は「モラツツ山」「タツツコップ山」「朝里・白井岳」「軍人山」「竹山」等々余りガイドブックにも載っていないような山に連れて行ってくれました。又その正確なガイドの凄かったこと！朝里、白井岳登山では札幌国際スキー場へのトレースの無い下山道、一度もウロウロすることなく、スキー場の下山口にピンポイントで着きました。会長にとっては庭みたいなものなのでしょう。

森林ボランティア関係では約10カ所のエリアについて植樹から育樹までの手入れに関わりましたが、特に印象に残るのは積雪期のエンジュ平の間伐と、茨戸川の植樹と育樹です。エンジュ平での椴松の間伐ではカシジキを履きチェンソーをフル使用して豪快に切り倒します。樹間を上手く通り雪面に倒れれば大成功も、他の樹木に枝掛かりしたら、その跡が大変。ロープを着け皆で引かなければなりません。昼飯時の雪上での大焚火も楽しい思い出になりました。

茨戸川の植樹と育樹については樹木の年々の成長・変化が良く解り達成感が得られる仕事になりました。昨年の秋には植樹初年度に防風と植樹の保護の為に植樹ゾーンの周辺に植えた「どろのき」の間伐を行いました。保護されてきた植樹木も、立派に成長し「どろのき」も役目を終えたということでしょう。約10カ所あった森づくりのフィールドも昨年までにほぼ全てについて協定期間の終了を迎え、我々の手を離れましたが、樹木は成長・変化するもの、今後も見に行くことを楽しみにしています。

一方、NPOの組織も会員の減少と高齢化には抗しえず、今般NPO解散、任意団体「森友会」で再スタートすることにしました。小生がその代表となりましたが、会員25名で発足、行事も絞込み小規模で継続します。代表を引受けるに当たって想起されたことは、小林会長が約30年前に「札幌森友会」を立上げて以来、組織の運営、行事の計画・実施等全てにわたって会長が一人で指導してきたことです。

小林会長、長い間本当にお疲れ様でした。会長より教えて頂いたことを生かしながら任意団体を続けます。ありがとうございました。

